

理事長あいさつ

特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 末田政一

あけましておめでとうございます。

今頃になってしまいました。新年のご挨拶をさせていただきます。

このところ各地で地震が頻発しています。昨年7月の集中豪雨では熱海市で土石流が発生し甚大な被害をもたらしました。盛り土という言葉を目にしたのも記憶に新しいところです。8月の集中豪雨では年間雨量の5割に達する地域も出るなど、全国各地の広範囲で記録的な大雨となり、河川の氾濫や土砂崩れなどが多発しました。我々奈良県民も決して人ごとではなく、対策と備えが急務であると感じています。



新型コロナウイルスが発生した2020年は、ほとんどの活動が停止していましたが、昨年は模索しながらの活動が徐々に増えてきたと思います。ただ感染の状況には波があり、翻弄された一年でもありました。予定を組んでも思い通りにいかないことが多く、防災訓練や講演も延期や中止になったところがありました。地域では今まで積み重ねてきたものが継続出来ないもどかしさと、継承できない不安を感じている方も多いと思います。また生活面でも出かけられない不自由さを感じました。私は旅やアウトドア活動もある意味で不自由を楽しむものだと思っているので、この不自由もインドアで楽しむことにしましたが、おかげで運動不足のため太ってしまいました。

不自由さは災害時の避難所でも同様に発生します。普段通りの生活が出来ないことへのストレスが体調にも影響します。少しでも負担を軽減するために、この機会に準備をしておくこともひとつの手段ではないでしょうか。「出来ることを出来る時に！」防災には臨機応変が大切です。自宅の備蓄を見直したり、二階や車などに避難の練習を試みたり、地域の防災に携わっている方は避難所の環境を整えたり分散避難を考えるなど、出来ることは沢山あります。

11月には久しぶりに奈良県防災士会の研修会を開催することが出来ました。オンラインでの開催も思案しましたが、会員相互の交流と親睦を図るという意味でも顔を合わせる機会が必要と考えて、密にならない大きな会場を準備しました。ところがマスクやソーシャルディスタンスの影響もあって、皆さん静かだったのが心残りです。折角の機会ですから、コロナ感染防止に配慮しつつ周りの方やスタッフと会話をして親睦を深めて頂きたいと思います。懇親会はまだ開くことは難しい状況ですが、今出来ることを模索しながら進めていきますので、本年も引き続きご協力をよろしくお願い致します。

オミクロン株の第6波が懸念されていて、広報誌をお届けする頃の状況がどうなっているのかわかりませんが、くれぐれも無理のないように、気は緩めず、出来る範囲での活動をお願いします。

活動報告

■ 2021年(令和3年)8月～12月末の活動 ※参加人数は、主催者発表による。

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
8/23(月)	ユンボ運転操作訓練	—	奈良県防災士会	3人
9/21(火)	奈良県防災プラットフォーム連絡会定期会議 第1回 オンライン(Zoom会議)	—	奈良県社会福祉協議会	—
9/22(水)	災害時の民生委員の行動 (災害時要援護者支援対策マニュアルについて)	平群町	平群町民生委員児童委員 協議会防災部会	14人
9/23(木)	第21回関西広域連合協議会	—	関西広域連合協議会	—
9/25(土)	災害ボランティア活動	—	日本防災士機構	—
9/26(日)	みんなで助かるために 新制度での福祉避難のありかた	—	あかるいみらい準備室	37人
10/9(土)	マイタイムライン研修会 「国土交通省マイタイムライン」	—	日本防災士機構	196人
10/9(土)	安否確認訓練と避難所開設訓練	広陵町	広陵町安心・安全まちづくり課	50人
10/16(土)	地区防災計画と防災士に期待すること 「室崎先生」	—	日本防災士会本部	222人
10/17(日)	奈良県自主防犯防災リーダー研修 (防災士養成講座) 講演「防災士に期待される活動」	—	奈良県安全安心まちづくり 推進課	98人
10/17(日)	奈良県自主防犯防災リーダー研修 (防災士養成講座) 実技「タイムライン」	—	奈良県安全安心まちづくり 推進課	98人
10/24(日)	上牧町協働のまちづくり公募型補助事業 「コロナ感染症に配慮した避難所運営」	上牧町	かんまき自主防災 ネットワーク	26人
10/31(日)	王寺町防災士ネットワーク研修会	王寺町	王寺町防災士ネットワーク	43人
10/31(日)	社会課題解決支援協会 「避難所における要配慮者への対応」	奈良県	奈良県まちづくり推進局 奈良公園室	30人
11/6(土)	安否確認訓練、避難所開設訓練、 緊急電力供給	広陵町	広陵町安心・安全 まちづくり課	50人
11/6(土)	災害時通訳・翻訳ボランティア養成研修 「大地震サバイバル体験」	奈良県	奈良県外国人支援センター	90人
11/10(水)	日本防災士会 女性防災推進委員会 第1回委員会	—	日本防災士会	24人
11/14(日)	県支援事業 上牧町「コロナ禍における避難所開設・運営訓練」	上牧町	かんまき自主防災ネット ワーク	44人
11/16(火)	奈良県防災プラットフォーム連絡会定期会議 第2回 オンライン(Zoom会議)	—	奈良県社会福祉協議会	15人



10/17 奈良県自主防犯防災リーダー研修



11/14 コロナ禍における避難所開設・運営訓練(上牧町)

月/日(曜)	イベント、派遣内容	市町村名	主催者又は要請団体	参加人数
11/20(土)	奈良県防災士会 令和三年度記念研修会 「コロナ禍の活動から見えたこと」	奈良県	奈良県防災士会	56人
11/21(日)	葛城市避難所運営訓練	葛城市	葛城市	77人
11/30(火)	防災教室(4年生) 「葛城市の過去の災害を知ろう」	葛城市	葛城市立忍海小学校	55人
12/2(木)	防災教室(6年生) 「葛城市の地層・断層について知ろう」	葛城市	葛城市立忍海小学校	62人
12/4(土)	BCP(事業継続計画)セミナー	—	日本防災士機構	—
12/5(日)	広陵町馬美北6丁目 Zoom 研修会 「地震の知識と対策」	広陵町	広陵町馬美北6丁目自治会	14人
12/9(木)	日本防災士会 女性防災推進委員会 第2回委員会(Zoom 会議)	オンライン	日本防災士会	25人
12/12(日)	上牧町協働のまちづくり公募型補助事業 「上牧町自主防災会フォローアップ研修会」	上牧町	かんまき自主防災ネットワーク	18人
12/13(月)	法隆寺防災訓練 「体験型 コロナ禍での避難所開設・運営訓練」	斑鳩町	法隆寺・斑鳩町	40人
12/17(金)	国際ソロプチミスト災害復興援助 「クラブ賞」贈呈式	奈良県	国際ソロプチミスト奈良	60人
12/18(土)	アフター・コロナとコミュニティ防災	オンライン	地区防災計画学会	—
12/21(火)	日本防災士会理事会(Zoom 会議)	オンライン	日本防災士会	25人

■連続講座 平群町教育委員会主催

月/日(曜)	連続講座内容	場所	参加人数
8/7(土)	暮らしに活かす防災講座第三回「平群町の災害リスクを知ろう～地震」	総合文化センター	13人
9/11(土)	暮らしに活かす防災講座第四回「平群町の自主防災活動について」	総合文化センター	12人
10/2(土)	暮らしに活かす防災講座第五回「災害時の食と役立つ小技を学ぼう」	総合文化センター	11人

■連続講座 三郷町社会福祉協議会主催

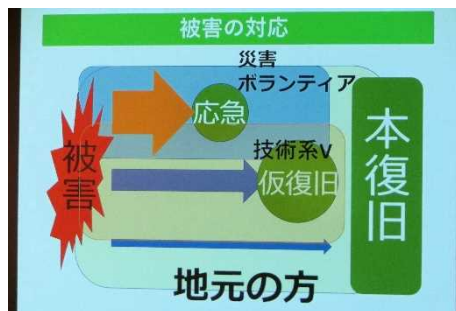
月/日(曜)	連続講座内容	場所	参加人数
8/7(土)	三郷町防災講座第一回「災害に備える～命を守るために～」	三郷町福祉保健センター	20人
8/21(土)	三郷町防災講座第二回「三郷町の災害リスクを知ろう」	三郷町福祉保健センター	11人
9/4(土)	三郷町防災講座第三回「災害ボランティアについて学ぼう」	三郷町福祉保健センター	14人
10/30(土)	三郷町防災講座第四回「コロナ禍における避難所開設訓練」	三郷町福祉保健センター	14人

■ラジオ・新聞・テレビ関連

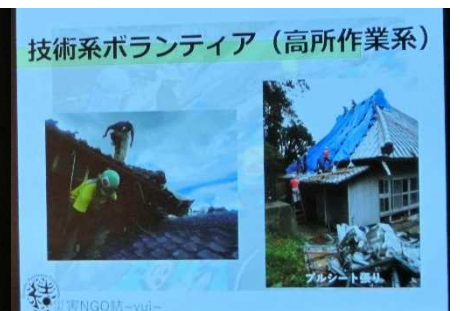
月/日(曜)	番組名、取材テーマ	主催者又は要請団体	出演
8/11(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	末田理事長
8/24(火)	奈良テレビ「ゆうドキッ！」	奈良テレビ放送局	植村相談役
9/1(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	村山監事
9/22(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	大北理事
10/13(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	植村相談役
10/31(日)	奈良県まちづくり推進局奈良公園室主催 イベントについて	ならどっとFM	末田理事長
11/3(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	末田理事長
12/15(水)	NHK ラジオ第一放送「マイあさ！関西」	NHK 大阪放送局	石川理事

■令和三年度 研修会

11月20日(土)14:00~奈良公園バスターミナル レクチャーホールにおいて、防災講演会「コロナ禍での災害支援～人吉市での災害支援と、過去の被災地からの学び～」が行われ、防災士および一般から56名が参加されました。講師は「災害NGO結」代表の前原士武(まえはらとむ)さんです。コロナ禍の活動制約で、中止を余儀なくされていた集合での研修会がようやく叶い、講演と質疑応答含め2時間の研修会となりました。被災地には沢山のボランティアが集まりますが、それを調整、コーディネートする人がいないため、現場は混乱しているとのこと。前原さんは、自分一人のスコップを動かすより1,000人のスコップを調整する方が復旧・復興に結び付くという理念のもと、発生24時間で現場入りし、緊急支援、育成、伝える活動を通して、人々が未来を自らの手で作るためのサポートを行っています。一つとして同じ災害はなく、同じ災害支援の形もありません。現場での情報収集や状況把握、災害支援コーディネイトを行い、被災者が自ら立ち上がり復興できるようサポートする流れを、「復旧ロードマップ」を使って解説頂きました。また、コロナ禍のなかではウィルスを①被災地に持ち込まない、②被災地から持ち出さない、③被災地内で感染を広げないために、被災地支援には最大限の配慮が必要なこと、そして、平時にできないことは有事にもできないため、平時からできることを増やし、課題を解決する力を備え、防災・減災力を高め「受援力」をつけることが大切であることも改めて学びました。私たちもこれら地域力の向上に寄与できるよう、日々活動を続けていきたいと思えます。(報告者:古瀬防災士)



土砂の搬出、廃棄物撤去、重量物の搬出



ブルーシート張り



当日はNGO法人結さんより被災地への支援として特産品の販売も行われた。海外支援品も販売した。長野県:りんごジュース、愛媛県:みかんジュース、佐賀県:嬉野茶、海外:バッグやラクダのお守りなど



まえはら とむ 前原 士武氏プロフィール

災害NGO結(ゆい)代表
災害支援コーディネーター
1978年沖縄生まれ
美容師・旅人・ラフティングガイド・添乗員を経て、
2011年東日本大震災をきっかけに現職。

■三郷町社会福祉協議会 連続講座（全4回）

三郷町社会福祉協議会主催「災害ボランティア養成講座」

第1回テーマ「災害に対する心構え」の講演および「非常持ち出し袋」の実習

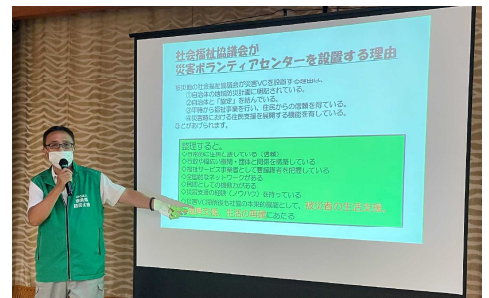
講座の様子を、奈良県防災士会のホームページで限定公開しました。〈報告者：板垣伴之防災士〉

第2回テーマ「三郷町の災害リスクを知ろう」

三郷町内から民生委員など11名が参加されました。「洪水について」「土砂災害について」「安全な避難のために」「地震について」の4章に分け約2時間の講習会となりました。小山防災士自身が三郷町内で実際に水害や土砂災害のあった地域を取材した内容や浸水予想地域の予想深度を動画で再現したり、避難情報や普段からの家族などでの取り決めを紹介したり、危険予測問題などを交えたり、受講者にとって身近な地域でのシミュレーションのため皆が熱心に聞き入っていました。〈報告者：北村厚司防災士〉

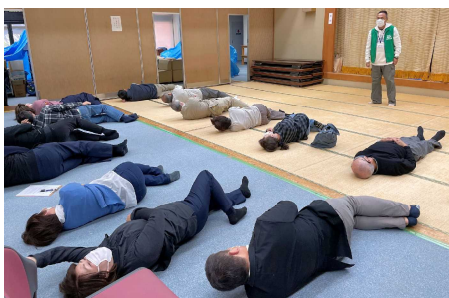
第3回テーマ「災害ボランティアについて学ぼう」

奈良県防災士会からは講師2人が招かれ、受講者14名が参加されました。前半は地元三郷町在住の北村防災士が「災害ボランティア～被災地活動報告～」と題して、2016年熊本地震（熊本県益城町）、2018年西日本豪雨災害（岡山県倉敷市真備町地区）、2019年台風19号（福島県いわき市）において現地で実際に活動した様子がふんだんな写真とともに紹介され、受講者の皆さんにも被災地におけるボランティア活動が具体的にイメージされたことでしょう。後半は植村相談役兼副理事長が「災害ボランティアとは？」と題して、被災地以外から災害ボランティアとして支援に入るケースと、被災地として災害ボランティアを受け入れるケースについての講話でした。災害復興支援の目的は「生活の再建」にあり、そのための手段として「支援活動」があること、災害ボランティアは「泥をすくうのではなく、心を救う！（災害NGO「結」代表 前原土武さん）」というお話が印象的でした。最後に三郷町社協の駒田事務局長補佐から三郷町社協の今後の取組みが紹介され、災害ボランティアを目指す受講者の皆さんにとって大変有意義な講座となったと思います。〈報告者：小山英子防災士〉



第4回テーマ「コロナ禍における避難所開設訓練」

この訓練は同町では初めて開催するもので、町内の民生委員・児童委員さんを中心に14名が受講され、奈良県防災士会からは町在住の6名を含む12名の防災士が参加しました。第1部は町在住防災士(避難所開設チーム)と受講生(避難住民チーム)に分かれ訓練を実施。全て元に戻した後、第2部は防災士と受講生の役割を交代しての訓練を実施しました。喫煙者やペット連れ、妊婦や赤ちゃん連れ、要支援者、新型コロナウイルス感染者など、様々な問題を抱える想定避難者を防災士が演じ、それを受講生が柔軟に受け止め対応する取り組みとなりました。また実際に避難場所に寝転がって避難生活の居心地を経験しました。限られた備品と時間の中で、新型コロナウイルス感染対策を意識しながら避難所開設における行動・手順を模擬体験し、参加者自身が様々な意見を出し合い工夫をした充実した訓練となりました。訓練の後



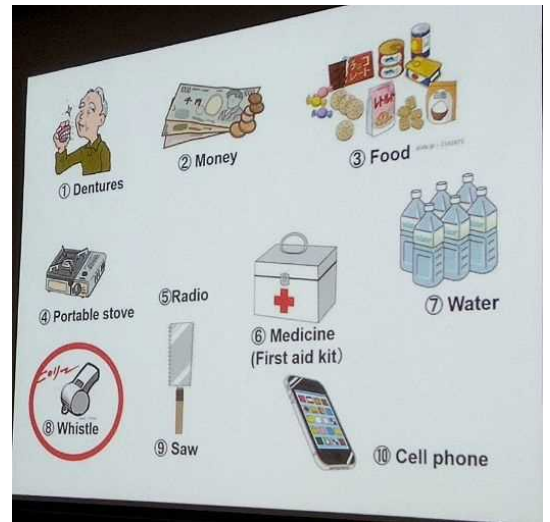
には奈良県防災士会植村相談役兼副理事長から「ふりかえり」の講義があり、続いて三郷町在住の北村理事が講評を述べられました。最後に三郷町社協の窪事務局長に閉講のお言葉を頂戴し、全4回の講座を修了しました。三郷町社協では来年度も本講座を継続実施していく計画で、防災士として地域防災力向上に向けた取り組みの重要性を再認識するものとなりました。〈報告者：平本防災士〉

■災害時通訳・翻訳ボランティア養成研修

令和3年11月6日(土)奈良先端科学技術大学院大学において、奈良県外国人支援センター主催による「災害時通訳・翻訳ボランティア養成研修」が開催されました。講師として招かれた奈良県防災士会からは14名が参加し、通訳ボランティア、先端大の外国人留学生とそのご家族など総勢90名を対象に研修は行われました。

前半は植村信吉副理事長兼相談役が「災害から“命”をまもるために」と題して講話され、「日本は災害大国」であり「今、一番心配されているのは南海トラフ地震」であることをビデオなどで分かりやすく説明し、命を守るための行動をクイズ形式で考えていただきました。

後半は「大地震サバイバル体験」をテーマに、「ブロック塀倒壊体験」「地震時危険箇所クイズ」「非常用トイレ体験」「水運搬」の4種の実技をグループに分かれて順に体験していただきました。研修後のアンケートでは、「ビデオでの説明が分かりやすかった(現実的であった)」「(先端大学生)、「地震発生時、何をすべきか、どうやって体を守ればいいのかを体験実習できた」「(先端大学生)、「簡易トイレの作り方体験は、非常に良かった」「(通訳ボランティア)、「外国の方(留学生等)と共にボランティアも防災知識を習得できた」「(通訳ボランティア)、「講義、グループワーク、状況判断とそれぞれがよかった」「(先端大学生)、「講師を含めスタッフ、参加者のお陰で学びの多い研修でした(交流を深めた)」「(通訳ボランティア)などの声を多数お寄せいただきました。奈良県防災士会にとりましても大変学びのある有意義な研修となりました。〈報告者 小山防災士〉



Earthquake Survival
in English and Japanese

Eligibility
International students, faculty, staff, and their families

Location
Millennium Hall (NAIST)

Date and time
Saturday, November 6th, 2021 (13:30-16:30)

To register
Please scan the QR code below and fill out & submit the necessary information

Deadline for registration
October 29th, 2021

災害時通訳・翻訳ボランティア養成研修

「大地震サバイバル体験」

令和3年11月6日(土) 13:30~16:30

会場：奈良先端科学技術大学院大学 (生駒市高山町8916-5)

奈良県では、災害時に外国人被災者を通訳や翻訳等のサポートで支援する「災害時通訳・翻訳ボランティア」制度を設けています。今回は留学生やその家族も参加して研修会を開催します。災害時の外国人支援に関心のある方はぜひご参加ください。

内容 講演及び防災知識
※断水体験、簡易トイレ設置、ブロック塀倒壊体験や
屋外危険箇所クイズ、非常持ち出し袋の展示説明など

講師 NPO法人 奈良県防災士会 相談役兼副理事長 植村信吉 氏

対象 災害時通訳・翻訳ボランティア登録者、留学生及びその家族、国際交流団体、災害時の通訳・翻訳による外国人支援に関心のある方。

申込 申込用紙に①氏名 ②所属(団体・学校等) ③連絡先(住所・電話・Eメールアドレス)を記載し、下記まで郵送・持参またはFAXでお申し込みください。

定員 50名(申込者多数の場合は抽選、受講の可否は全員にお知らせします。)

締切 令和3年10月29日(金) 必着

英語と日本語のイベントちらし



ブロック塀倒壊体験



地震時危険箇所クイズ



非常用トイレ体験

■奈良県防災リーダー研修

令和3年度の奈良県防災リーダー研修が10月17日(日)奈良県社会福祉総合センターにおいて、98名の受講者で開催されました。奈良県安全安心まちづくり推進課が主催する4日間の研修の初日で、新たな防災士を養成する講座です。一限目は末田防災士が「防災士に期待される活動」として講義を行い、二限目は「防災士が行う各種訓練」として、マイタイムラインの実技訓練を八幡領防災士が進行しました。初日なので受講者には緊張と困惑の表情が見られましたが、講義終了後は明るい雰囲気になっていたのが印象的でした。

新型コロナウイルス感染防止のため、昨年度に続き参加者を制限したため、抽選に外れた方も多くありましたが、各地で災害が多発して防災意識が高まる中で、新しい防災リーダーの活躍は頼もしい限りです。地域や職場、家族のために知識を役立てていただきたいと思います。 <末田政一 防災士>

■社会課題解決支援協会「避難所における要配慮者への対応」

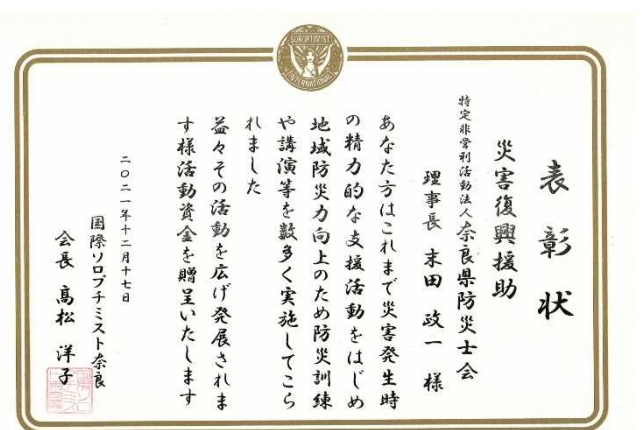
令和3年10月31日(日)、奈良公園バスターミナルレクチャーホールにおいて、奈良県まちづくり推進局奈良公園室主催で「避難所における要配慮者への対応」と題したイベントが行われました。

このイベントは奈良公園室がバスターミナルを災害拠点に使用できないかという試みから始まった第二回目で、一般社団法人社会課題支援協会協力の下、奈良市危機管理課と富雄東地域包括支援センターの講演から始まりました。奈良県防災士会からは末田防災士がパネルディスカッションに参加して、地域包括支援センターとケアマネージャーさんとの意見交換を行いました。災害時の逃げ遅れを防ぐためには福祉と地域防災との結びつきが大事ですが、福祉側からはお願いすることばかりで、逆に相談して欲しいとか、地域側からは協力したくても何処の誰に言ったらいいのかわからないし、知らん顔されても困るのでといった意見が出て、お互いが歩み寄りたい気持ちがありながらもすれ違っている感じを受けました。防災と福祉は意外と接点がないため、今回の意見交換は貴重な情報源となりました。

<報告者：末田政一 防災士>

■国際ソロプチミスト奈良例会（表彰）

令和3年12月17日(金)奈良ホテルで開催された「国際ソロプチミスト奈良表彰式」に参加しました。奈良県防災士会は、災害被災地への支援活動や地域防災力向上のための防災訓練や講演を数多く実施してきたことが評価され、クラブ賞(災害復興援助)をいただきました。会場では参加者の方々と情報交換を行いました。(報告者：末田防災士)



■女性の視点で地域をまもる

日本防災士会「女性防災推進委員会」が動き出しました。地域の防災を進めるには、女性や高校生、中学生などの力が不可欠です。女性ならではの優しい視点、地域における子育て家庭の参画を進めるなどの取り組みが始まっています。

本部では、本年10月11月に委員の選任を行い、奈良県からは石川啓子(葛城市)防災士が委員に認証されています。

これを受けて、奈良県防災士会でも女性の視点で地域をまもる活動を進めていきたいと考えています。

災害復旧・復興支援ボランティア登録

奈良県防災士会では災害ボランティア派遣登録者制度を設けています。登録者はあらかじめボランティア保険に加入して、すぐ支援に対応出来るような体制を整えてきました。今後も登録制度を続けていきますが、コロナ禍で全国の災害被災地に災害ボランティアとして派遣が難しい状況が続いていることを含め、多種多様な形で支援ができるように災害ボランティア登録の再整備を行います。

災害復旧・復興支援は、「被災者中心」が原則です。被災地では「泥をすくう」だけでなく、「心を救う」支援も進めて行きたいと考えています。個々人が持つスキルや資格、特技が被災地で役に立ちます。すでに登録をされている会員を始め、新たに登録を希望される会員も含めて災害復旧・復興支援ボランティアの募集を行う予定です。再度、募集の際には会員のご協力をお願いします。

今後の活動予定

■奈良県防災士会 総会・研修会

●2022年5月22日(日)

場所、時間、議案、研修会内容等の詳細は、会員様宛に発送する予定です。
詳細が決まり次第ホームページでも告知します。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により縮小開催もしくは書面決議の可能性あります。

事務局からのお知らせ

奈良県防災士会のウェブサイトをご存知ですか？イベントのお知らせや、活動報告は、「**奈良県防災士会**」で検索！

奈良県防災士会のウェブサイトでは、会員のスキルアップのため、県内で開催される防災訓練の情報をお知らせしていますが、新型コロナウイルスの影響で、現在見学案内は最小限に留めています。

会場定員の都合で予約制となります。見学を希望される方は、事前に事務局までメールで申込をお願いします。

投稿記事募集！

奈良県防災士会会員の皆さまからの、「災害復興支援」や「防災訓練」の活動報告をお待ちしています。当会のウェブサイト、Facebookページ、広報誌で公開可能なレポートをお寄せください。

- 送り先 mail@bousainara.com
- テキストおよび写真（肖像権など差支えないもの）をお送りください。



奈良県防災士会のFacebookを公開し、さまざまな情報をアップしています。「いいね！」をよろしくお願いします。

「Facebook 奈良県防災士会」で検索

■発行日 2022年1月7日

■発行者 特定非営利活動法人奈良県防災士会 理事長 末田政一
〒632-0221 奈良市都祁白石町 1192-190

■編集 特定非営利活動法人奈良県防災士会 広報部会

■E-mail mail@bousainara.com

■FAX 0745-61-1878

■ウェブサイト <http://bousainara.com>

■Facebook <https://www.facebook.com/bousainara>